

「一つとなるために」
ヨハネによる福音書 17 章 20 - 26 節

イエスさまは 21 節でこう祈られました。「父よ、あなたがわたしの内におられ、わたしがあなたの内にいるように、すべての人を一つにしてください。彼らもわたしの内にいるようにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります。」

イエスさまは、教会が一つでありますようにと祈ってくださっています。このことは続く 22 節でも「わたしたちが一つであるように、彼らも一つになるためです」と祈られ、23 節でも「彼らが完全に一つになるためです」と祈っておられます。イエスさまは、切なる祈りとして、教会が一つでありますようにと祈ってくださっているのです。

教会にはいろいろな人たちがいます。年齢も違えば、性格も違う、それぞれが育った環境も違います。そういう人たちが一つになるということは簡単なことではありません。しかし、そのような人たちが一つとされるのです。なぜなら、私たち一人ひとりがイエス・キリストの十字架の贖いによって、その罪を赦されたからです。イエスさまがこんな罪深い者を愛し、そのためにご自分のいのちを捨ててくださった。そのことを知るからこそ、私たちの内に神の愛が生まれ、その愛で愛し合うことができるのです。イエスさまは、父なる神様と御子なるキリストが一つであるような愛の交わりが教会において実現しますようにと、祈りをささげられたのです。

なぜ、これほどにイエスさまは、教会の一致を望まれるのでしょうか。それは、教会における愛の一致を見ることによって、人々が神様の愛に触れて欲しいと願われたからです。イエスさまは、「すべての人を一つにしてください。そうすれば、世は、あなたがわたしをお遣わしになったことを、信じるようになります」と祈られています。また 23 節でも、「こうして、あなたがわたしをお遣わしになったこと、また、わたしを愛しておられたように、彼らをも愛しておられたことを、世が知るようになります」と祈っておられます。

まだ信仰を持っていない人も、教会の姿を見て「あの人たちは神様に愛されている人たちなんだ。だから、あんなに嬉しそうに愛の交わりをしているんだ」と分かる。教会がそのような愛の実践の場となってほしい、そうイエスさまは願っておられます。

もし私たちが、このイエスさまの祈りに応えることが出来るなら、それこそが、私たちが神の子とされ、神の栄光を表わす、ということではないでしょうか。世の人々は、その私たちの姿を通して神様を知ることになります。もちろん、私たちは不完全ですから、完全に神様をあらわすことなど出来ません。本当に神様を知るには、一人一人が直接、神様に会い、聖書の御言葉から教えられなければなりません。けれども、それはもっと後になってからの話でしょう。最初は教会に生きる私たち一人一人が神様をあらわすのです。

だからこそ、イエスさまは「すべての人を一つにしてください」と祈ってくださっているのです。どうか私たちが、このキリストの祈りに望みを抱きつつ、共に歩いていく者でありたいと願います。